

## アンケート結果を受けて改善したいところ 【人文社会系】

受講生とのコミュニケーションという面では、多人数を相手にする講義で難しいのですが、授業中に質問をする程度が限界です。「何か質問があればどうぞ」という投げかけは毎回していますが、全く質問はありません。この授業のための学習時間が「なし」という割合が、地誌概説Ⅰについては34.4%と高いので、課題を別途出すなどの改善を進めたいと思っています。その他の授業では特に改善の必要は感じていません。

使用したテキストは幅広い領域をカバーしているものの、事実の羅列が中心で、実際の使用方法に関する説明が不十分であったかもしれない。履修しているすべての学生が教員志望とは限らないので、今後テキストを選定する際には、もう少し実践的な内容のものも含めて検討したい。履修者数が多いため、かなり意識して大きな声でしゃべらないと後ろの方まで声が届かないようである。今後はマイクを利用するなどして改善に努めたい。

難易度については、高いと回答する傾向にあるが、国文学演習AⅡ・BⅡにおいては、主に蔵書の問題で、学外の図書館を使用しなければならないこと、小説の訓詁注釈を行う技術の修得が難しいことなどが上げられると予測している。しかしながら、授業で行っていることは、標準的な国文学演習の内容であるし、また、注釈作業が比較的行きやすいものの、教育的効果が高い作品を選択している。今後、更なる作品選定の工夫を行いたい。CⅡにおいては、分析対象のメタ言説の読解を行ったが、日頃行うことが少ない作業であったで、難しいと感じたものと推測される。こちらも今後、教材選定を工夫したい。

レジュメの作成や配布の仕方についてはより丁寧に指導していきたい。また発展的な学習をできるように授業内で工夫したい。

本授業科目は、専攻主任と4年生との連絡を主として設定されているため、授業内容に焦点を置くだけでなく、その他関連のあることを行う必要があった。そのため、授業進度が不十分なところもあった。この点に関しては、できる限りは改善したいと考えているが、どこまで可能かは不明です。

「週当たりの学習時間」と「教材・教具のわかりやすさ」を改善する必要があると感じた。今後は、教科書を指定することを通して、学習内容の全体像が見えるようにし、事前学習の時間を増やすなど、工夫していきたい。

受講生達の頑張り甘えて、授業のレベルをドンドン上げてしまったのかも知れない。でも、それができたのも愛知教育大学であったからこそであろう。

問15の週当たりの学習時間の確保があまりできていないようであった。次回からは、何らかの課題などを出すことで、予め学習できるような取り組みをしていきたい。

授業の難易度をもう少し上げたい。3年生になったばかりの学生が調度いいレベルでは専門科目としては平易すぎるように思う。少し難しいと感じるぐらいでないと、知的欲求を刺激できないと思う。好意的にアンケートに回答してくれたようだが、ICTを用いるなど、発展的な内容を取り扱う余裕がなかったように思う。他の科目にも発展的に利用できる知識や調査方法なども教授していきたい。

アンケート結果を見ると概ね好評であったことがわかるが、一点、「週当たりの学習時間」の項目で低評価が目立ったので、今後は、授業に即した課題の提示を心掛けたい。

授業への直接的なコメントとしては、「プレゼンテーションソフトのスライド切り替えが速い」(異文化コミュニケーション論)、「学生の理解度をみながら、授業のスピードを調節してほしい」(言語学研究Ⅰ)があった。前者については、多人数相手の講義であり、悩ましい問題である。スライドのすべてをメモしようとせず、要点だけをメモするように伝えているが、それでもやりにくいだろうと思う。あらかじめ簡単なハンドアウトを配るなど、やり方はあったが、授業準備にも十分な時間を割けないほど多忙な状況で、実現しなかった。後者については、決して授業者の目標だけにしがたって授業を進めているつもりはなかったが、コミュニケーション不足であったことは否めない。今後は改善していきたい。

英語講読については少し難しいぐらいがちょうど良いと考えていたので、難易度に対する回答の44.4%が「ちょうどいい」、55.6%が「難しい」であったのは、或る意味「適切」であったのではないかと思う。しかしながら、語学の習得はそう簡単なことではない。半期で本一冊を読み切るぐらいの「スパルタ」も時には必要ではないかと思うが、そこまで踏み切るほどの「勇気」を私は持てなかった。学生の外国語に対するやる気と能力には大きな差があるため、どの程度の量を読ませるかについては、今後も試行錯誤を繰り返していくことになると思う。

多読に慣れてもらうため、読むスピードを徐々に速めていきたいと考えていたが、なかなか速められなかった。短時間で段落の要旨をつかむ訓練を、もっと効率的にできれば良かったと思う。

映像のナレーションと私の講義の説明が重なってしまい、私の言葉が聞きづらかったという指摘があった。映像の提示と説明・講述の区別をより明確にし、メリハリを付けて講義するよう、一層心がけ、改善したい。

受講者において「なぜ学ぶのか」の動機づけを明確にさせることを心掛けたい。

もう少し日程に余裕を設けたらと思う。

こちらとしては同じように行っているつमりの授業が、学生にとって必修か選択かという点で結果がかなり異なっているようである。この点は大変興味深かった。

前回のアンケートでは、受講生の人数が多くなるほど学生の満足度が下がる傾向が見られたことを記憶している。ひとりひとりにかける時間がどうしても制限されてしまうことに起因すると思われたため、可能な限りひとりひとりにコメントをつけるようにしたのだが、今回のアンケートでは、同じくらいの人数であれば、必修より選択の学生の満足度が明らかに高かった。また同じ授業で必修の専門の学生と選択必修の専門外の学生が混在している授業については、新しい考え・知識・技能が身についたかという点や、自分で問題点を深く考えたかという設問への回答が異なる傾向が見られた。

これらの違いを踏まえて、どのように学生の興味に沿った授業を展開していくかを今後の課題としたい。

クラスにより多少の差はあるが、6~7割程度の学生が満足している(問12までの項目で①②を足した割合)ようなので、授業として大きな問題はないと考えるが、内容が難しい、難しすぎるが4~5割あるので、その点は質を落とさないうで改善したいと考えている。

伝え方を工夫していきたい

授業者と受講者の間で、若干の齟齬があるので、受講者の受講目的と授業者の教育目標が一致するようさらにコミュニケーションを深めていきたい。

本授業では少し難しめの文章を読むことで、学生の読解力の向上を図っているため、「授業の難易度」の「ちょうどいい」55.6%、「難しい」44.4% は意図通りの結果と言えるが、その一方で「一回当たりの授業内容の量」については「少ない」11.1%、「ちょうどいい」77.8%、「多い」11.1% と若干甘めだったようである。実際、「この授業のための週当たりの学習時間」についても「3時間以上」は11.1%のみで、「2-3時間」が55.6%、「1-2時間」が22.2%であり、「1時間未満」も11.1%見られた。これは明らかに本来期待している学習時間には不足している。もう少し負荷をかけて、個々人の努力を求めるべきかと思われる。

漢文学Cについて問10が非常に低く出ている。おそらく板書事項が多いために十分消費できていないのかと思われる。一因として、課題が未消化の学生が多く、結果として課題でクリアしてほしい事項についてもこちらが板書せざるを得ない状況があると考え。課題をもう少しきちんとやってくるよう工夫すると同時に、こちら側としても情報を効率的に提示するやり方を考えたい。

授業のために使われる週当たりの学習時間は少ないような気がするため、定期的に課題等を課すことを考えるか、あるいはグループワーク等、課外で集まらざるを得ないものを導入するか、今後は授業外でのことにも意識を持ちたい。

ただし、少し忙しすぎるため、実現は難しいと考えている。

授業の難易度が「ちょうどいい」という回答が88.2%であるのに対し、「授業を受けたうえで、自ら関連項目について文献やインターネットなどで調査し新たな思考を展開した、さらにその思考に基づき行動した」という項目については「どちらともいえない」「あまりそうは思わない」という項目に約62%が当てはまると回答していた。授業内容からさらに関心をもって調査、思考を進めるということがまだ弱いと思うので、講義終了後も関心を持っていただけるような内容や指導を今後行っていきたい。

毎回反省される点だが、受講者との双方向的なコミュニケーションをより活性化させることが、教える側・教わる側の双方にとってのメリットがあると感じる。そのためには、単に教科書の解説にとどまらず、学生の個々の問題意識を引き出してそれを深めていくような課題設定やアプローチを試みる余地がまだ多くあると思われる。

授業内容の量が多いという声がやや多めだったので、少し内容を整理したい。また、声が聴きとりにくいとの声もあったので、マイクの音量の調整を含め注意したい。

『史記』を取り上げた時のような双方向の授業がもっとできるよう工夫したい。

漢字についての学生の関心は比較的高いことが分かったので、学生自身がさらにみずから調べ考えを深めていけるよう、授業方法を考えていきたい。

問13「授業の難易度」では、「難しい」という解答が半数を超えていたので、難易度をしっかり見極めながら授業を行いたい。